



だより

だ - Go forward together! -

安心して学び、安心して挑戦する一年へ!

館林市立第五小学校

令和8年5月7日 No.3

<https://www.city.tatebayashi.gunma.jp/school/sho.daigo/>



五小が目指す学校づくり

令和8年度 館林市立第五小学校
学校経営グランドデザイン

学校教育目標
「心豊かに、自ら学び、たくましく生きる児童を育成する」
Go forward together!
— 子ども真ん中、笑顔、共創。 —
全員が「五小でよかった」と思える学校へ
子どもたちが行きたくなる学校、先生たちが働きたくなる学校、
保護者・地域が応援したくなる学校へ!

1 チーム五小2026
高い専門性と柔軟な発想をもち互いに支え合い、共に創るチームへ全職員が組織の一員としての役割と責任を自覚し、一丸となって課題解決に取り組む。

2 目指す教職員の姿
教育的愛情をもって子どもに接し、子どもの主体性に寄り添い、学力向上に責任を果たす教職員

3 学校教育目標の具体化

A やさしく 思いやりのある子	B かしこく 進んで学ぶ子	C たくましく 体をきたえる子
<ul style="list-style-type: none"> 豊かな人間性 SOSの出し方教育 自己有用感 いじめ未然防止 あいさつ・道徳 	<ul style="list-style-type: none"> 自ら問い、学び続ける態度 確かな学力と学びの意欲 主体的・対話的で深い学び ミラシンド活用 読書・情報活用 ロイノート等のICT活用 	<ul style="list-style-type: none"> 体力向上 食育の推進 規則正しい生活習慣 安全な環境整備

4 目指す学校の姿

- 笑顔あふれる学校
- 地域と共に創る学校
- 安心して挑戦できる学校
- 学びが深まる学校

5 組織力の最大化

- 働き方改革
- 心身の健康確保
- 主体的な学び
- 専門職としての成長
- 初期対応徹底
- 安全・危機管理の徹底
- 育ち合う組織
- 地域・家庭とのパートナーシップ

6 重点メッセージ

児童	教職員
<p>見つける、気づく! 一歩踏み出す 昨日の自分より 前へ進む!</p>	<p>きっかけの「しかけ」を 挑戦への「働きかけ」を 成長への「声かけ」を</p>

7 館林市の教育方針に基づいて推進します

館林市教育大綱 (令和8-12年度)

- I 自ら学ぶ意欲とたくましく生きる力を育むまち
- II 心身ともに健全な子どもが育つまち
- III 生涯にわたって学び続けることができるまち
- IV 歴史や伝統・文化に誇りをもち、心豊かなまち
- V スポーツを楽しめる、活力あるまち

令和8年度重点目標 (教育行政方針)

- 1 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

令和7年度の成果と課題

成果 (◇)

- ◇ コミュニティ・スクール全校導入から5年が経過し、学校運営協議会制度が機能している。
- ◇ 学校と地域が目標やビジョンを共有し、地域人材等を活用した活動が数多く実施できている。

(脚) 地域との合同防災訓練 伝統文化の継承
学習ボランティアの充実 地域と連携したキャリア教育等

課題 (◇)

- ◇ 地域学校協働本部(公民館等)との連携
- ◇ 中学校における地域学校協働活動の充実

学校と地域がつながり、未来を創る!

学校と地域が目指す目標やビジョンを地域と共有

学校	地域 (公民館等)
<p><学校教育の充実></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域学習(里田学習等) 授業支援 登下校の見守り 社会奉仕活動 他 	<p><地域づくり></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域交流 防災活動 伝統文化の継承 キャリア教育支援 他

地域学校協働活動
※学校の業務に即じた地域学校協働活動

協働・連携

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

Chance! → Challenge! → Change!
きっかけ! → 挑戦! → 成長!

今年度の五小では、「Go forward together!」を合言葉に、児童一人一人が安心して学び、安心して挑戦できる学校づくりを進めています。

特に大切にしたいのは、学校の中心に、いつも児童の姿を置くことです。うまくできた結果だけでなく、迷いながら考える姿、友達と関わろうとする姿、少し勇気を出して一歩踏み出す姿を大切に見つめていきたいと考えています。

学校は、児童だけでつくられるものでも、教職員だけでつくられるものでもありません。毎日の授業や行事を支える教職員の力、家庭での励まし、地域の皆様の見守りや声かけ、その一つ一つが重なって、児童の安心と成長につながっていきます。

今回掲載したグランドデザインは、五小が今年度大切にしたい学校づくりの方向を一枚にまとめたものです。Chance、Challenge、Change を大切にしながら、児童が「五小でよかった」と思える学校、教職員が力を合わせて働きたくなる学校、保護者・地域の皆様が応援したくなる学校を目指してまいります。

① Chance

公民館
地域つながりが学びのきっかけ!

今度、昔のことを教えてあげるよ!

えっ! ぼくも行ってみたい!

② Challenge

一緒にやってみよう!

③ Challenge → Change

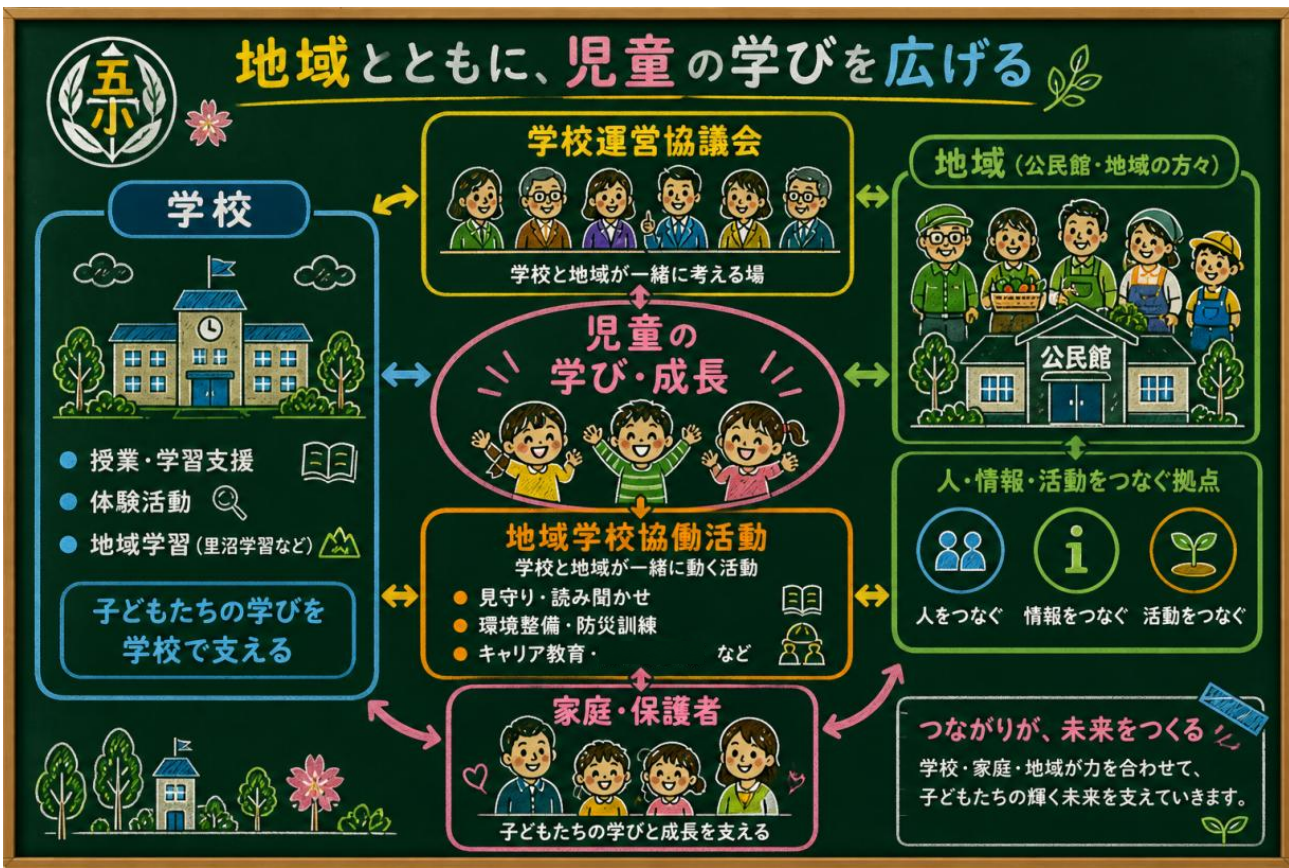
そうだったのか! 昔はここが川だったんだ!

なるほど~!

④ Change

地域のみなさんと学んで、ぼくたちの町がもっと好きに! 自分たちの未来をつくっていききたい!

つながりが、学びを広げ、未来をつくる力になる!



児童の成長は、学校の中だけで完結するものではありません。家庭での励まし、地域での見守り、様々な方との出会いや体験が重なって、児童の学びはより豊かに広がります。

学校運営協議会は、学校に置かれる、学校と地域と一緒に学校づくりについて考える場です。また、地域学校協働活動は、見守り、読み聞かせ、体験活動、地域学習など、地域の力を児童の学びや成長につなげる活動です。その活動を進める拠点となるのが、地域学校協働本部です。本校では、赤羽公民館を大切な拠点として、7地区の区長の皆様、公民館長様をはじめ、多くの地域の皆様に支えていただいています。

こうしたつながりに感謝しながら、学校・家庭・地域がともに児童一人一人の学びと育ちを支えていく…。

引き続き、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします！

校長コラム:

まなざしの温度

見えている景色の奥に

先日、地域の皆様とお話する機会がありました。その中で、五小の校庭にある鈴懸の木のことが話題になりました。毎日見ているはずの校庭にも、まだ私の知らない記憶や物語があるのだと感じました。

学校には、校舎や校庭、木々や像、通学路など、児童が何気なく見ている景色がたくさんあります。しかし、その一つ一つには、地域の方々が見守ってくださった時間や、卒業生の思い出、学校を大切にしてきた方々の願いが重なっているのかもしれません。

児童にとって、学校は「今」を過ごす場所です。一方で、地域の皆様にとっての五小は、かつて学んだ場所であり、家族を送り出した場所であり、長く見守ってきた場所でもあります。同じ五小を見ている、そこに重なる時間は一人一人違います。

だからこそ、これから少しずつ、五小に残るものや地域の皆様の記憶に耳を傾けていきたいと思えます。昔の写真、校庭の木にまつわる話、学校に残る像のこと、地域の方が覚えている出来事などを教えていただければ、五小の今をより深く見つめることにつながります。

学校は、今を生きる児童のための場所であると同時に、地域の記憶を受け継ぎ、未来へつないでいく場所でもあります。五小の景色の奥にある物語を、皆様と一緒に見つけていければ幸いです。



市民説明会、開催!



館林市教育委員会では、「館林市立学校適正規模・適正配置基本方針」について、市民説明会を開催しています。本校区に関する説明会は、5月12日(火)午後7時から、赤羽公民館で開催される予定です。

学校の適正規模・適正配置は、児童のよりよい教育環境をどのように整えていくかという、地域全体に関わる大切なテーマです。五小としても、児童の学びや成長を中心に据えながら、今後の動向を丁寧に受け止めていきたいと考えています。

参加に事前申込みは不要とのことです。関心のある保護者・地域の皆様は、ぜひお近くの会場で内容をご確認ください。

□日時 5月12日(火)19:00～

□会場 赤羽公民館

□事前申込みは不要

□詳しくは館林市教育委員会の案内をご確認ください。

昔と今…。そして、今と未来…。もしからしたらその接地点になるかもしれない…。

